

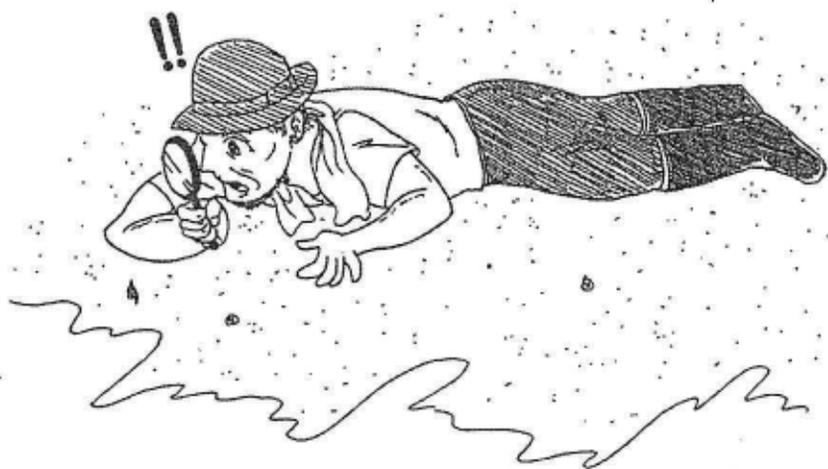
浜辺に打ち上げられた貝

夏休みには、海水浴などで海に行くことも多いと思います。どんな貝がらが打ち上っているでしょうか。できるだけ多くの種類を集めて見ましょう。

貝とり名人

科学文化センターにたくさんの貝標本を寄贈された和歌山県の山本虎夫さんという貝を集める名人がおられました。山本さんは浜辺へ行くとあたりを見まわし、貝が多そうな場所に寝転んで、虫めがねで砂の上を見まわします。砂浜に打ちあがっている貝には人目で分かる大きな貝の他に、砂粒と区別がつかないくらいの小さな貝がたくさんあり、歩き回るだけでは見落としてしまうので、それをそっと虫めがねで見ながら柔らかいピンセットなどでつまむのです。

特に、台風などで海が荒れた後で静かになった浜辺にはたくさんの種類の貝が打ちあがっていることがあります。



富山湾の貝

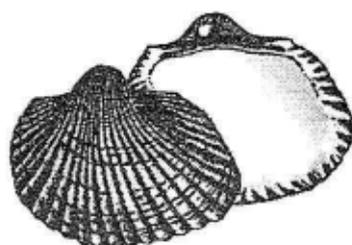
富山湾では 550 種類ほどの貝がいることが知られています。黒潮の影響の大きい太平洋側の県と比べると 1/3 から 1/6 にあたります。富山湾で最も多いのはヒメカノコアサリ、フジノハナガイ、カバザクラ、バカガイ、サルボウガイなどの砂浜の貝が多いですが、近くに磯や波消しブロックがあるとコシダカガンガラ、レイシ、ムラサキイガイなどの堅い海底を好む貝が多くなります。また、近くに川が流れ込んでいるところは、カワニナやタニシなどの川の貝やカタツムリのからも流れ着きます。



ヒメカノコアサリ



フジノハナガイ



サルボウガイ



カバザクラ



ムラサキイガイ



バカガイ

科学文化センターで名前をしらべます

採集した貝は名前を調べましょう。科学文化センターでは 8 月 27 日 (日) 10 時～4 時に専門の先生をお招きして標本の名前を調べる会を行います。この日は岩石、化石、植物 (海藻も)、昆虫も調べます。富山湾の主な貝を科学文化センター二階ろびーでも展示しています。ぜひご覧ください。(布村 昇)



富山市科学文化センター

〒939-8084 富山市西中野町 1-8-31 TEL (076-491-2123)

ホームページ <http://www.tsm.toyama.toyama.jp>

平成 12 年 8 月 1 日